

1 次の  $\square$  にあてはまる数を答えなさい。

(1)  $\frac{38 + 59 + 80}{5 + 23 + 41 + 59 + 77 + 95 + 113} = \square$

$$\frac{59 \times 3}{118 \times 7 \times \frac{1}{2}} = \frac{3}{7}$$

(2)  $(\frac{3}{2} - \frac{4}{3} + \frac{5}{4} - \frac{6}{5}) \times 2 \times 3 \times 4 \times 5 = \square$

$$180 - 160 + 150 - 144 = \underline{26}$$

(3)  $11 \times (8 + (\square - 0.625) \times 18 \div 8 \frac{1}{4}) = 89$

$$\frac{89}{11} - 8 = \frac{1}{11} \quad \frac{1}{11} \times \frac{33}{4} \times \frac{1}{18} + \frac{5}{8} = \frac{16}{24} = \underline{\frac{2}{3}}$$

(4)  $(\square - 1) \times (\square + 1) = 2024$  ( $\square$  には同じ数が入ります。)

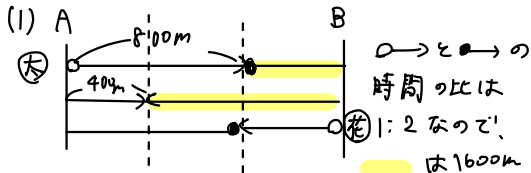
$$\begin{aligned} 8 \times 23 \times 11 & \text{ 2 上手く組み合わせ。} \\ = 44 \times 46 & \quad \square = \underline{45} \end{aligned}$$

2 地点Aと地点Bの間を、太郎さんと花子さんが休むことなく一定の速さでくり返し往復します。太郎さんはAを、花子さんはBを同時に出発します。2人が1往復する間に、2人は2回すれ違い、1回目、2回目にすれ違ったのはAからそれぞれ800m、400mの地点でした。

このとき、次の問いに答えなさい。

(1) AB間の距離は何mですか。

(2) 2人が初めて同時に地点Aに着くとき、太郎さんは出発してから何m進みましたか。



よって、 $AB = (2400 + 400) \div 2 = \underline{1400m}$

(2) 太郎と花子の速さの比は  $800:600 = 4:3$

太郎がA  $\rightarrow$  2800m, 5600m, 8400m...

このとき、

花子は 2100m, 4200m, 6300m...

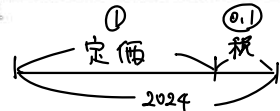
ここでAにくる。

$\rightarrow \underline{5600m}$

★ 出会う場所指定は倍数にもちこむ!

- 品物を買うとき、その品物の定価に消費税を加えた金額を支払います。消費税は品物の定価の10%で、小数点以下を切り捨てるものとします。  
このとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 支払う金額が2024円となると、消費税はいくらですか。  
(2) 支払う金額が1000円以下となると、定価は最大でいくらですか。  
(3) 1000円以上2024円以下の金額のうち、支払う金額とならないものは何通りありますか。

(1)   $(1.1) = 2024$   
 $(1) = 1840$   
 $(0.1) = 184円$

(2) 1001 は11で割りきれぬ。  
 $(1.1) = 1001$   $(1) = 910円 \rightarrow 909円$  が可能性大!  
 たしかめ  $\rightarrow 909 \times 1.1 = 999.9円$  (OK!)  
909円

(3) まずは実験

| 定価  | 支払い    |
|-----|--------|
| 910 | 1001   |
| 911 | 1002.1 |
| 912 | 1003.2 |
| ⋮   | ⋮      |
| 919 | 1010.9 |
| 920 | 1012   |

+1.1していきなさい!  
 1011.0円 とばされたことに注意!

周期を利用すると、

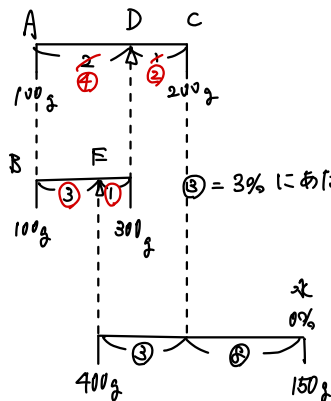
支払う金額にならぬ11のは、

1000, 1011, 1022, ..., 2023

(11×n-1) が支払えないものというコト)

$(2023 - 1000) \div 11 + 1 = 94通り$

食塩水 A, B, C があります。A と B の濃度は同じで、重さはともに 100g です。C の濃度は A より低く、重さは 200g です。A と C をよくかき混ぜて食塩水 D を作り、D と B をよくかき混ぜて食塩水 E を作ると、A と E の濃度の差は 3% になります。また、E に水を 150g 加えてよくかき混ぜると、C と同じ濃度になります。このとき、D と E の濃度の差は「ア」%、C と D の濃度の差は「イ」%、A の濃度は「ウ」% です。

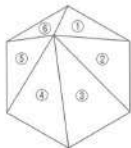
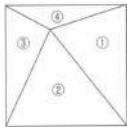


よて、  
 A, B → 14%  
 E → 11%  
 D → 10%  
 C → 8%  
ア: 1 イ: 2 ウ: 14

- 5 図形を形の異なるいくつかの部分に分け、赤、青、緑の3色でぬり分けます。となり合う部分は異なる色でぬるものとし、3色すべてを使わなくてもよいものとします。

次の図において、色のぬり分け方はそれぞれ何通りありますか。

- (1) 四角形を①から④の部分に分ける (2) 六角形を①から⑥の部分に分ける



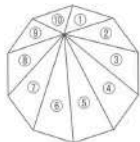
(3色)  $3 \times 2 \times 1 \times \underline{2} = 12$   
 $(1, 3, 2, 4) (2, 4, 1, 3)$

(2色)  $3 \times 2 = 6$  (1, 3, 2, 4) と同じ.  $3 \times 2 \times 1 \times \underline{10} = 60$

$12 + 6 = \underline{18 \text{通り}}$

(13, 25, 46) (14, 25, 36)  
 (14, 26, 35) (15, 24, 36)  
 (135, 2, 46) (135, 4, 26)  
 (135, 6, 24) (246, 1, 35)  
 (246, 3, 15) (246, 5, 13)

- (3) 十角形を①から⑩の部分に分ける



書ききれないし...

(2色)  $3 \times 2 = 6$   
 (135, 246) のみ

$60 + 6 = \underline{66 \text{通り}}$

試験中はこれでOKだが、  
 - 応用解法があります...

## 別解

(1) だと、

$$\begin{array}{c|c} \textcircled{1} & \textcircled{1} \leftarrow 3 \text{通り} \\ \hline \textcircled{2} & \textcircled{2} \leftarrow 2 \text{通り} \end{array}$$

から、①と④が同じ色で  
 ある場合を引けばよい。

2通り

それは、 $\frac{\textcircled{1} \textcircled{4}}{\textcircled{3} \textcircled{2}}$  つまり、1つ前のパターンを引けばよい。  
 $3 \times 2 \times 1$  のとき。

よって、 $3 \times 2 \times 2 \times 2 - 6 = 24 - 6 = \underline{18 \text{通り}}$

(2) ①~⑥のとき、

$$\frac{3 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2 - 18}{5 \text{通り}} = 30 \text{通り}$$

1つ前のパターン

①~⑥のとき

$$\frac{3 \times 2 \times \dots \times 2}{5 \text{通り}} - 30 = 96 - 30 = \underline{66 \text{通り}}$$

(3) 以下、続ければ、

①~⑦:  $192 - 66 = 126$

①~⑧:  $384 - 126 = 258$

①~⑨:  $768 - 258 = 510$

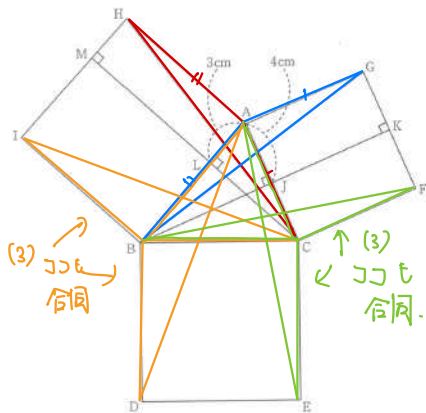
①~⑩:  $1536 - 510 = 1026$  よって、1026通り

6 図のように、三角形 ABC の各辺に正方形がくっついています。三角形 ABG の面積は  $18\text{cm}^2$  で、AJ、AL の長さはそれぞれ  $4\text{cm}$ 、 $3\text{cm}$  です。このとき、次の図形の面積はそれぞれ何  $\text{cm}^2$  ですか。

(1) 四角形 AJKG

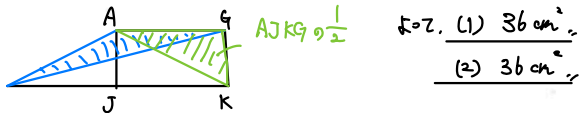
(2) 四角形 AHML

(3) 四角形 BDEC




大図は大変そうだが、やはりこれは等積変形のみ!


$\triangle AHC$ 、 $\triangle ABG$  は合同でどちらも  $18\text{cm}^2$ 。  
また、これらの三角形も等積変形で (1) (2) は求まる。

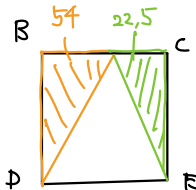


ついでに、 $AG \times 4 = 36$      $AG = 9 \rightarrow KF = 5$   
 $AH \times 3 = 36$      $AH = 12 \rightarrow MI = 9$

(3)  と  の合同に注目。

 =  $\underbrace{12}_{BI} \times \underbrace{9}_{MI} \times \frac{1}{2} = 54$

 =  $\underbrace{9}_{CF} \times \underbrace{5}_{KF} \times \frac{1}{2} = 22.5$



と等積変形できるので、

$(54 + 22.5) \times 2 = \underline{153\text{cm}^2}$

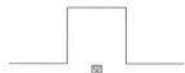
7 あるロボットは、1から3の命令を入力すると、それぞれ次のように動きながら線を引きます。

命令1: 左に90度回転する

命令2: まっすぐ1m進む

命令3: 右に90度回転する

例えば「2 1 2 3 2 3 2 1 2」という命令列を入力すると、図のような線を引きます。図の中にある2を、すべて図におきかえた新たな命令



「2 1 2 3 2 3 2 1 2 | 1 2 1 2 3 2 3 2 1 2 3 2 1 2 3 2 3 2 1 2 3 2 1 2 3 2 3 2 1 2 1 2 3 2 3 2 1 2」

を①とします。さらに、①の中にある2を、すべて図におきかえた新たな命令②

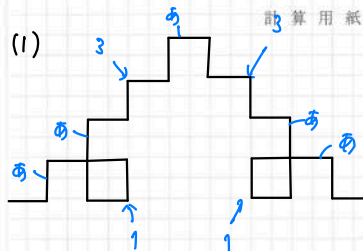
②の中にある2を、すべて図におきかえた新たな命令③とします。

このとき、次の命令を入力してロボットが引いた線によってできる図形の中に、正方形はそれぞれ何個ありますか。

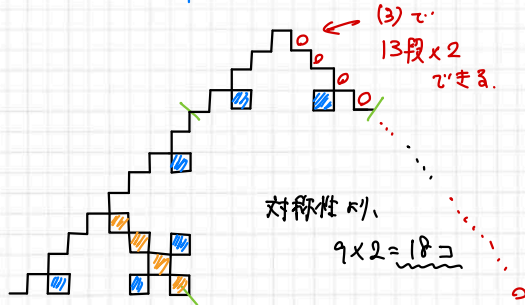
- (1) ① (2) ② (3) ③

2個, 18個, 116個,

(3) は規則を求めた  
計算で!



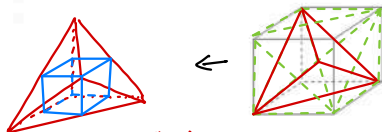
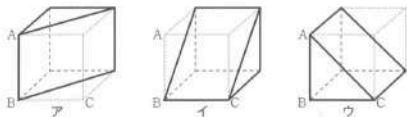
(2)



(3) (2) は、 $2 \times 5 + 4 \times 2 = 18$  になるので、

(3) は  $2 \times 25 + 8 \times 5 + 13 \times 2 = 116$  個

- (1) 下の図のように、1辺の長さが1cmの3つの立方体があります。A、B、Cをそれぞれ重ねたとき、立方体の頂点をつないでできる三角柱ア、イ、ウの重なる部分の立体を考えます。

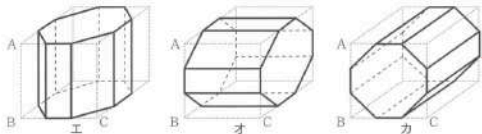


三角柱3つと立方体で構成！

- ① 面の数はいくつですか。      ② 体積は何  $\text{cm}^3$  ですか。

6つ,  $\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{3} \times 3 + \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{4} \text{cm}^3$

- (2) 下の図のように、1辺の長さが3cmの3つの立方体があります。A、B、Cをそれぞれ重ねたとき、立方体の各辺を3等分する点をつないでできる八角柱工、オ、カの重なる部分の立体を考えます。



立方体、8つの角のブロックに(1)が隠れて  
いる！ ↓

\*面としては六角形であることに注意！



- ① 面の数はいくつですか。

六角形 12つ  
正方形 6つ) 18つ,

- ② 体積は何  $\text{cm}^3$  ですか。

$\left. \begin{array}{l} \text{立方体} \dots \frac{1}{2} \times 12 = 6 \\ \text{立方体} \dots 1 \times 7 = 7 \\ (1) \dots \frac{1}{4} \times 8 = 2 \end{array} \right\} 15 \text{cm}^3$

